

就労支援情報 仕事を探している方、資格取得を目指している方等に様々な就労支援情報を発信しています。詳細は市Web内産業・しごと↓就職・労働をご覧ください。問経済課商工係

### 7月15日～8月1日の休日急病診療所・休日薬局

受付時間＝午前9時～午後5時(詳細は各医療機関にお問い合わせください)  
問保健センター ☎378-3421(土・日曜日、祝日＝稲城消防署 ☎377-7119)

期日	医療機関	薬局	地区
7月19日(日)	稲城わかばクリニック ☎370-0530	優愛薬局 ☎401-5728	百村
7月20日(月・祝)	稲城癒しの森内科クリニック ☎379-8880	サンテ薬局大丸店 ☎379-8156	大丸
7月26日(日)	なかお内科クリニック ☎401-5836	アイセイ薬局稲城店 ☎370-2131	東長沼

### 8月の乳幼児健診等事業

場先問おやこ包括支援センター(保健センター内) ☎378-3434

事業名	対象	実施日	申込方法	申込期限
離乳食調理講習会(先着24人)	令和8年3月生まれの方へ個別に通知	8月3日(月)	市Web内 申込フォーム	—
母子健康相談(母乳・栄養・育児の個別相談)	未就学児と保護者、妊娠中の方	8月7日(金)		8月5日(水)
2歳児・2歳6カ月児歯科健康診査(先着20人)	令和6年5月～7月 令和5年11月～令和6年1月生まれ	8月19日(水)		8月17日(月)

※母子健康相談は7月20日(月・祝)から予約受付

### 8月の健康相談

場先問保健センター ☎378-3421

事業名	実施日	時間	申込期限
保健相談(保健師)	8月4日(火)	午前9時30分～11時	前日までの予約
栄養相談(管理栄養士)	8月18日(火)・25日(火)		



がんの早期発見・早期治療のためには、症状がなくても定期的にがん検診を受けることが大切です。詳細は市Webをご覧ください。  
問昭和62年4月1日以前生まれの女性(2年度に1度の受診)

※令和8年度に41歳になる方には無料クーポン券、43・45・47・49歳になる方には、受診券(圧着ハガキ)を送付済み  
問9月26日(土)  
時午前9時～午後3時  
※時間指定不可  
場ふれんど平尾  
定50人(申込者多数の場合は抽選し、全員に結果を通知)  
問問診、マンモグラフィ検査(乳房エックス線撮影検査)  
費3040円(3割負担の場合)  
申申込フォーム(下記参照)、郵送、窓口  
限7月27日(月)



地震時の倒壊を防ぐため、ブロック塀等の撤去およびフェンス等新設の一部費用を補助しています。詳細は市Webをご覧ください。お問い合わせ



先問保健センター(〒206-0804 稲城市百村12の1) ☎378-3421

## 南多摩尾根幹線 トンネル工事 説明会(オープンハウス形式)

多摩市聖ヶ丘四丁目～稲城市長峰三丁目のトンネル工事に伴い説明会を開催します。資料は、説明会后「東京都南多摩東部建設事務所」Webに掲載されます。

問①8月8日(土)②8月29日(土)

※両日とも同一内容

時午後1時～5時

場①野村不動産いなぎアリーナミーティングルーム1

②多摩市立聖ヶ丘コミュニティセンターホール(多摩市聖ヶ丘2-21-1)

※予約不要、入退場自由

※説明会用の駐車場なし

持上履き(②のみ)

問東京都南多摩東部建設事務所工事課

☎042-737-2350



▲トンネル出入口イメージ図

365・4302  
問東京都市水道局北多摩一  
号水再生センター ☎042・  
7・1234

※駐輪場・駐車場有り  
※南多摩スポーツ広場バス停(iバス)より徒歩1分、市立病院バス停より徒歩7分

時午前10時～午後1時  
場東京都下水道局南多摩水再生センター(大丸1492)  
※小雨決行  
問7月30日(木)

下水道施設の見学や微生物観察で、地域の水環境を守る下水道について学びましょう。  
市内在住の方

南多摩水再生センター  
サマーフェスタ  
2026  
せくください。  
問まちづくり再生課住所整理・団地再生係

## 事業者の方へ

中小企業退職金共済(中退共)制度

中退共制度は、中小企業の事業主が、従業員の退職金を計画的に準備できる国の退職金制度です(一部対象外有り)。国からの有利な掛金助成や、税法上の優遇も受けられ手数料もかかりません。家族従業員やパートタイマーも加入できます。  
詳細は「中小企業退職金共済事業本部」Web(下記参照)をご覧ください。  
問中退共本部 ☎03・690



### まちの話題を集める

## わがまち稲城2026

問秘書広報課広報広聴係

### 第69回農民文学賞を受賞!

まきち 和美さん



東長沼在住の菊池 和美さんが農民文学賞を受賞しました。農民文学賞は日本農民文学会が主催する農村や農民の生活をテーマにした文学作品を評価する賞です。菊池さんは小説「天の采配」を執筆し、受賞されました。

この受賞作は、都市近郊で農業を営む夫婦と都市農業を支援する女性の話です。作中では都市農業が直面する宅地開発の波、相続税、後継者不足等の課題を取り上げ、営農継続をする難しさに立ち向かう夫婦の生涯を描いています。

菊池さんはこれまでに2度、農民文学賞に挑戦し、いずれも最終候補作品に残りましたが受賞には至らず、今回は念願の受賞となりました。「3度目の正直で受賞できたことに驚きと喜びが込み上げました」と菊池さんは笑顔で語ってくれました。

#### 執筆活動について

菊池さんは、4人の子どもの育てる中で、文章を書く時が一番心が自由になる時間と感じていました。執筆は社会の中で理不尽と思うことや改善すべきと思うこと等を伝えるための大きな手段であると教えてくれました。

市内に薬局を開業し、日中は薬剤師として勤め、空き時間や休日に執筆活

動を行っています。小説の執筆には自らの学びと調査や取材が必要で、1作品を書き上げるのにはとても時間がかかるということです。1週間ごとにノルマを決めてコツコツと執筆を進めて、作品を完成させるとのことでした。

#### 作品に込める想い

菊池さんは、市内で様々な活動を行っており、「稲城の自然と子どもを守る会」や「稲城農業ファンクラブ」等の地域活動も精力的に行っていました。これらの地域活動の経験から自然を守ってきた都市農業の大切さを知り、都市農業が直面する課題を受賞作に込めたといいいます。特に「まちと市民と農業が共存できるまちづくり」の重要性を読者に伝えたいという想いが込められています。



▲これまでの主な執筆作品



▲受賞を喜ぶ菊池さん

今後の目標を伺うと、「人間の暮らしが自然とかけ離れていくことへの疑問、お年寄りに聞く戦争の実態、稲城の屋号から知る手作業の暮らしの温かさ等、興味のあるテーマを執筆したい」とのことでした。また、執筆を終えた未発表作品もあり、「受賞を励みに今後もずっと書き続けたい」と語ってくれました。

地域や学校の話をお寄せください。